

2006年度第2回 長期計画企画拡大会議 議事記録

日時：2006年(平成18年)7月26日(水) 16:00～16:55

場所：L-911

出席者：計 87名

欠席者：計 33名

配布資料：

1. 長期計画企画拡大会議構成員及び各検討専門委員会名簿(2006年7月1日現在)
2. 新6号館(仮称)平面図および上智会館跡地利用計画
3. 短期大学の自己点検・評価領域及び項目一覧

スライド資料：

1. 新築・解体・改修計画(フィジカル・プラン等検討専門第2委員会)
2. 職員人事制度の再構築(人事計画等検討専門委員会)
3. 上智大学創立100周年記念事業募金活動について(財政計画等検討専門委員会)
4. 上智短期大学の自己点検・評価と第三者評価(上智短期大学検討専門委員会)

議 事

審議に先立ち、事務局より、配布資料の確認を行った。

1. 各委員会の計画案について

(1) 新築・解体・改修計画(フィジカル・プラン等検討専門第2委員会)

山岡総務担当理事(フィジカル・プラン等検討専門第2委員会委員長)から、配付資料に基づき、新6号館(仮称)建設計画及び上智会館跡地利用計画について報告があった。

(a) 新6号館(仮称)建設計画

すでに7月21日発行の上智大学通信に概要が掲載されている旨説明があった後、配布資料を基に新6号館(仮称)の平面図等について報告があった。

(b) 上智会館跡地利用計画

配付資料を基に、上智会館跡地利用計画について報告があった。

- A、B、Cの3つのゾーンを設定し、それぞれ学生の憩いの場や活動の場とする。
- 千代田区からの要請に基づき、違法駐輪対策のため、自転車置き場を設置する。なお、運営方法について学生センター長を中心にワーキンググループを立ち上げ、早急に検討することになっている。
- 跡地の中央部分は、新6号館(仮称)建設のための資材置場として使用する。
- 8～9月に工事を行い、後期開始の10月には利用に供する予定である。
- 上智会館跡地には、将来、理工学部棟の建設を予定している。

《質疑応答》

Q. 今回の跡地利用計画は過渡的なものと考えられるが、いつまで利用できるのか。

A. 次の理工学部棟の建設がいつになるのかはまだ不明であるが、数年間の措置となるだろう。(総務担

当理事)

Q. Bゾーンは「小規模イベント対応可能」となっているが、ソフィア祭のイベント会場としても使用するのか。また、その際、すぐ隣にあるS.J.ハウスへの配慮はいかがか。

A. ソフィア祭のイベント会場として使用するかどうかはまだ決まっていない。なお、イベントに使用する場合の音の問題については、S.J.ハウスへの配慮は必要なことであり、協議も必要となるであろう。(総務担当理事)

Q. Bゾーンに設置予定のテントは、イベント使用時には邪魔になるのではないか。

A. どのようなテントを設置するのかは最終決定しておらず、それまでに十分検討したい。(総務担当理事)

なお、高祖理事長から、理工学部棟について、現在2008年度を目途に理工学部再編を検討しているが、再編計画及び資金計画が確定した後に、理工学部棟の設計に入る予定であるとの補足説明があった。

(2)職員人事制度の再構築(人事計画等検討専門委員会)

青山人事担当理事(人事計画等検討専門委員会委員長)から、スライド資料を基に、職員人事制度の再構築について報告があった。

なお、教員の人事制度については、当面は現状維持とし、アカデミック・プランとの連動により、教員評価制度の検討も考えているとの報告も併せてあった。

- 今回の職員人事制度再構築の目的は、「役割・職務・成果に応じた公平かつ構成な処遇の実現」であり、「旧弊の打破」である。
- 内容については、Web等で公開しているので、ご覧頂きたい。
- 導入にあたってのスケジュール
 - 2001年度から準備開始
 - 2005年度～2006年度にかけて、制度設計を実施
 - 2006年1月、職員人事制度再構築の詳細を公表(第1回)
 - 2006年4月、関連諸規定の制定
 - 2006年6月、詳細の公表(第2回)
 - 2006年10月、詳細の公表(第3回)
 - 2006年度は、新制度導入準備の年とする
 - 2007年度に新制度を実施する。

(3)創立100周年記念事業募金活動について(財政計画等検討専門委員会)

小瀬垣財務担当理事(財政計画等検討専門委員会委員長)から、スライド資料を基に、創立100周年記念事業募金活動の現状について報告があった。なお、募金獲得に向けて、更なる支援・協力の要請があった。

《質疑応答》

Q. 海外在住の卒業生からも募金に協力したいという希望が寄せられているが、クレジットカードによる受付は可能か。

A. クレジットカードによる募金は現在検討中であり、実現したいと考えている。(財務担当理事)

Q. 一定以上の寄付者について、2号館に銘板を掲げるとのことだが、いつ頃から実現できるか。

A. 現在、設置場所や設置頻度について検討を進めているところであり、なるべく早く実施したいと考えてい

る。(財務担当理事)

Q. 現在の募金獲得達成率は妥当と考えているか、あるいは、危機と考えているか。また、今後どのような展開を考えているか。

A. 現在の状況に危機感を持っており、具体策を立案中である。企業向けの活動も活発にさせたいと思っている。(財務担当理事)

Q. 募金目標額50億円を3分野に振り分けているが、今後それぞれの金額の変更はあるのか。

A. 当面は変更しない予定である。(財務担当理事)

A. 目標額は固定的に考えてはいない。各分野で目標額を超えることがあれば、それは大歓迎すべきところである。なお、募金活動は大学構成員全員があたりねばならないということを理解してもらいたい。(理事長)

(4) 上智短期大学の自己点検・評価と第三者評価(上智短期大学検討専門委員会)

高祖短期大学長(上智短期大学検討専門委員会委員長)から、スライド資料を基に、上智短期大学における自己点検・評価と第三者評価の概要に関して報告があった。

- 2005年度及び2006年度を対象とした自己点検・評価を行う。
- 自己点検・評価の結果をもとに、2007年度に短期大学基準協会の第三者評価を受ける予定である。
- 自己点検・評価および第三者評価を、短期大学の将来構想につなげていきたい。
- 上智大学は2009年度に第三者評価を実施するが、短期大学の第三者評価がそのステップとなるようにしたいと考える。

2. 次回会議について

次回会議は、2006年10月4日(水)午後3時30分より、L-911において行うこととする。なお、詳細は追って通知する。

以上